

2025年 9月 19日

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 深層学習を用いた急性胆嚢炎の診断ツールの構築 」 への協力をお願い

消化器外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2015年4月1日～2024年3月31日の間に、胆嚢炎の疑いがあり腹部CTを施行された方、他疾患の診断・検索目的に腹部CTを施行された方。

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028年3月31日

研究目的・利用方法：

現在、AIを活用した画像診断支援が注目を浴びています。急性胆嚢炎の腹部CT画像にAIを使用し、医師の診断をサポートし素早い治療判断の手助けとなる、新たな診断ツールを開発します。使用するCT画像や個人情報は、個人を識別できる情報を削除し、独自の符号を付して対照表を作成します。これにより、どの個人の情報であるか直ちに判別できない情報に加工します。

研究に用いる情報の項目：

以下の項目について、診療録から取得します、これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

身体所見（年齢、性別、身長、体重、BMI）、血液検査（白血球、AST、ALT、ALP、 γ GTP、LDH、CRP）、腹部単純CT画像（炎症胆嚢、正常胆嚢）

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：

2024年4月15日から

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、した岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学院医学系研究科医科学専攻外科学講座消化器外科・小児外科学

氏名：松橋 延壽

連絡先

岐阜大学院医学系研究科寄附講座がん先端治療国際地域支援

電話番号：058-230-6233

氏名：洞口 岳

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp